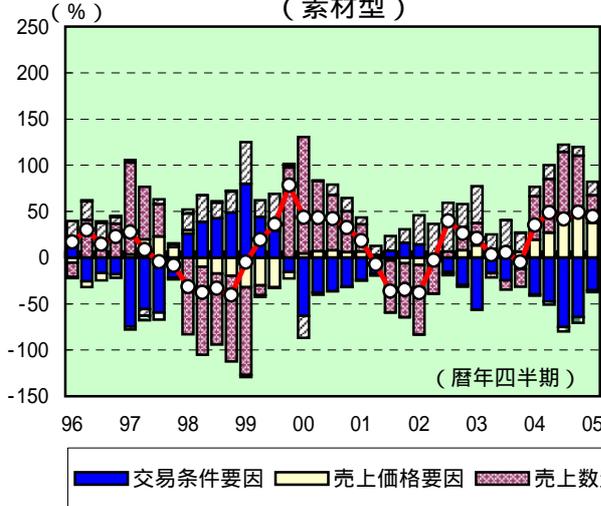




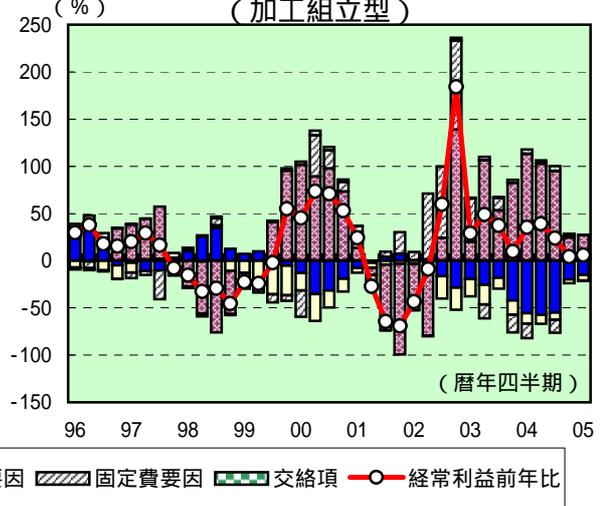
天然資源逼迫と価格高騰の動き (1)

- ・世界的な景気回復や中国の急成長などを背景に顕在化している、天然資源の逼迫、価格高騰の動きに懸念が高まっている。特に、昨年来、石油、石炭、鉄鉱石などの価格上昇が著しいが、素材型産業では、売上数量の増加に加え、売上価格の引き上げにより大幅増益を果たしている。
- ・石油は、世界的な需要拡大の一方で、中東地域の政情悪化を背景とした地政学的リスクの高まりなどにより価格が高騰、3年間で2倍以上に上昇した。年初には落ち着きを取り戻すのではないかと見られていたが、6月以降騰勢を強めており、当面高水準を維持するとの見方が大勢を占めている。
- ・石油化学関連も原油価格の高騰に加え、中国はじめ新興国の台頭による需要増などもあり、製品価格は上昇傾向にある。今年に入り、中国で大型エチレンプラントが立ち上がり、一時、アジア地域における市況価格が低下したものの、需要拡大の勢いを受けて回復傾向にある。国内での需要も堅調であり、依然強含みの展開がみられる。

図表1 経常利益前年比要因分解 (素材型)

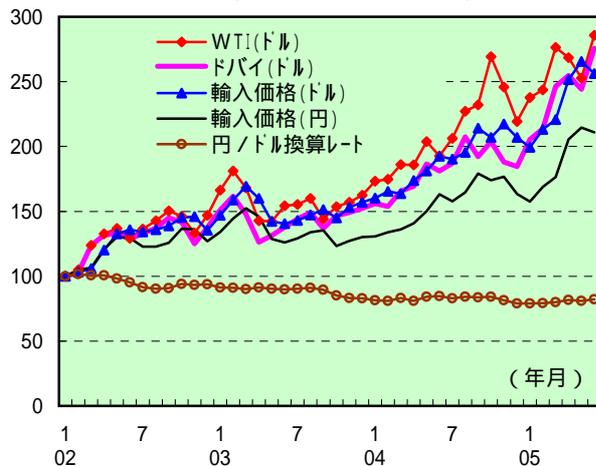


図表2 経常利益前年比要因分解 (加工組立型)



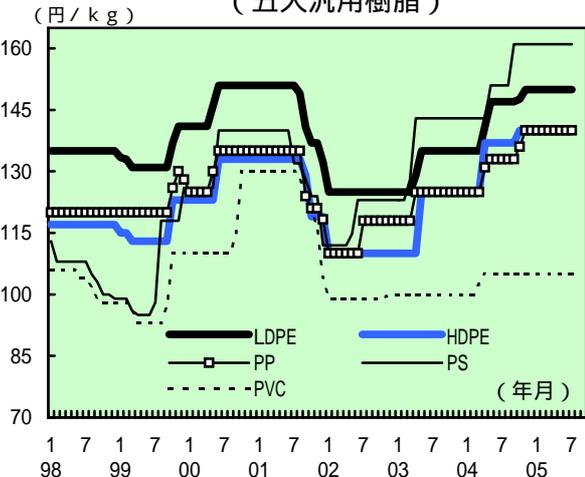
- (備考) 1. 日本銀行「物価指数月報」、財務省「法人企業統計季報」により作成。
2. 素材型：繊維、パルプ・紙・木製品、化学、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属
加工組立型：食料品、一般機械、電気機械、精密機械、輸送用機械

図表3 原油価格指数の推移 (2002年1月=100)



(備考) 財務省「貿易統計」及び石油連盟資料により作成。

図表4 石油化学製品国内市況 (五大汎用樹脂)



- (備考) 1. 東京一般標準タイプ需要家渡し、LDPE・HDPE・PP・PS：粒状、PVC：粉状
2. HDPEは日経商品情報、その他は日本経済新聞により作成。

[調査部(産業調査担当)]

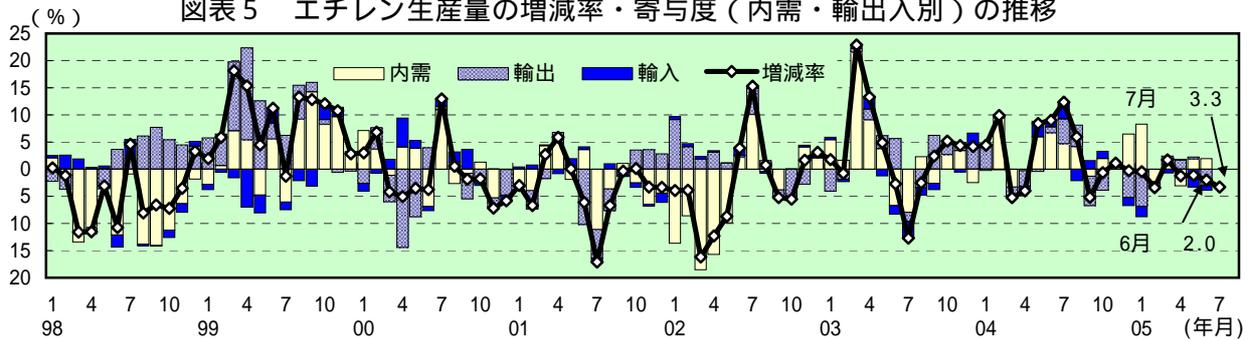
お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部
Tel: 03-3244-1840
E-mail: report@dbj.go.jp



天然資源逼迫と価格高騰の動き(2)

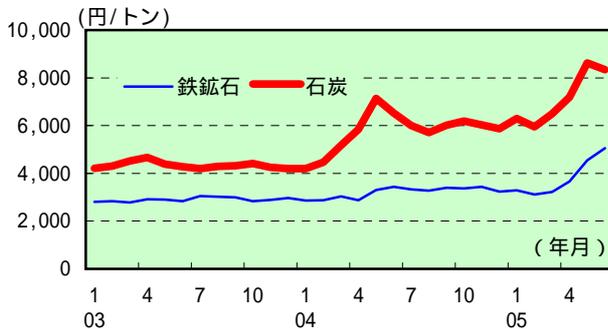
- 鉄鋼は、中国をはじめとする需要の急拡大に、鉄鉱石や石炭などの供給が追いつかず、原料コストの急騰を招いている。建設関連鋼材などについては、中国の生産拡大などもあって一部に需給緩和の動きもみられるが、日本メーカーが得意とする自動車や電機向けなどの高級品は引き続き好調が見込まれている。
- 昨今の資源逼迫問題は、世界的な需要の急拡大のスピードに供給サイドが追いつけなかったことが影響を拡大させた要因のひとつと考えられる。今後も天然資源への需要拡大が想定されるが、安定供給への取組も進められており、徐々に沈静化してきているものとみられる。ただし、商品市場への大量の投機資金の流入などもあり、激しく価格が変動している石油の動向には引き続き注視する必要がある。

図表5 エチレン生産量の増減率・寄与度(内需・輸出入別)の推移



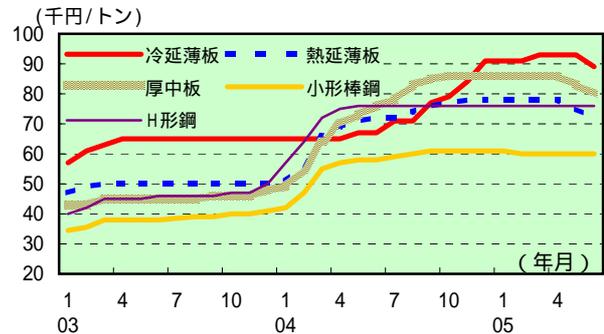
(備考) 経済産業省「化学工業統計月報」等により作成。

図表6 製鉄原料の価格推移



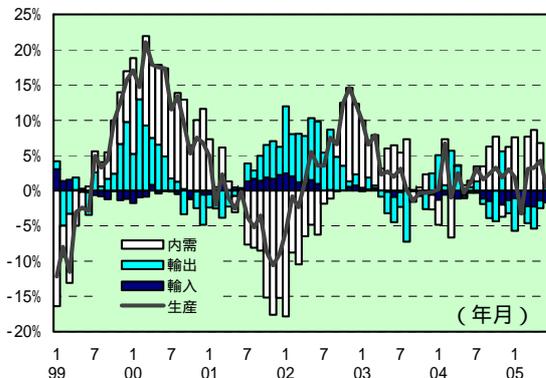
(備考) 財務省「貿易統計」により作成。

図表7 国内鉄鋼商品市況の推移



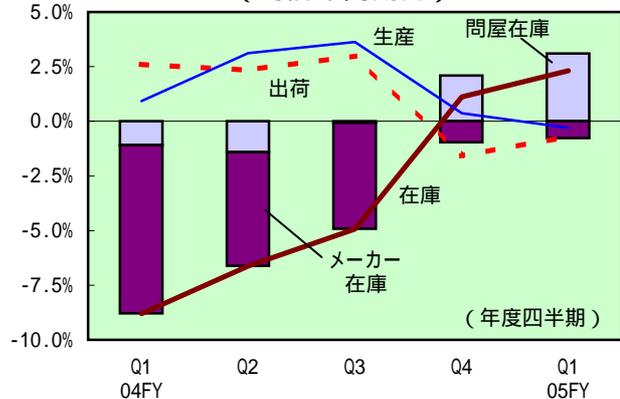
(備考) 日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給統計月報」により作成。

図表8 粗鋼生産(前年同月比増減寄与度)



(備考) 日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給統計月報」により作成。

図表9 普通鋼鋼材需給の推移(対前年同期比)



(備考) 日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給統計月報」により作成。

[調査部(産業調査担当)]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp